



# 木曽林務課だより

# 7月

夏の暑さと夏休みがやってきました。元気いっぱいの小中学生で構成されている「みどりの少年団」の交流集会在、令和5年7月26日（水）に「木曽駒森林公園」で開催されました。その内容をご紹介します。

## 木曽地区みどりの少年団交流集会在開催されました！

長野県みどりの少年団連盟 木曽地区協議会では、緑豊かな自然の中での共同作業や森林・林業などに関する学習活動を通じて互いに交流を深め、緑を愛する豊かな心を育むことを目的に「みどりの少年団交流集会在」を毎年開催していましたが、しばらくコロナ下で開催できなかったため、今回は実に4年ぶりの開催となりました。

木曽郡内には、11の小中学校にみどりの少年団が結成されています。今回の交流集会在には、10団97名の少年団員、先生や支援スタッフを合わせると約150名の皆さんが木曽駒ヶ岳のふもとに集結しました。

開会の様子



活動発表の様子



講評の様子



木曽五木の名当てクイズ



一定の重さで丸太切り



協議会長の大桑中学校 高山校長先生のあいさつで始まった交流集会在は、最初に4校（福島小、上松小、開田中、上松中）からの特徴ある活動発表を聞き、自分たちの活動に活かさないか考える機会となりました。

その後は、10班に分かれ初めて会うお友達と名札づくりや自己紹介で打ち解け、木曽五木の名前当てクイズや一定の重さに丸太を切り取るなどの様々な問題を解くクイズラリーで交流を深めました。

怪しい天気襲来で、昼食後に閉会（講評）となり、午後の木工体験は流れてしまいましたが、参加した団員たちは、暑さの中、元気いっぱいに森林公園フィールドを駆けまわっていました。

今後もこの交流集会在が継続して開催され、普段会うことのないお友達と交流の輪を育むことや、将来の仕事で森林や林業に関わっていただけることを期待します。

